

# INTERIM REPORT



平成23年3月期

## 中間報告書

平成22年4月1日～平成22年9月30日

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。ここに平成23年3月期中間報告書をお届けするにあたりご挨拶申し上げます。

当社グループは、平成25年(2013年)3月期を最終年度とする中期経営計画「Riso Vision 13」を策定し、新規顧客の獲得による健全な成長を通して利益体質の再構築を図るべく、さまざまな活動に取り組んでおります。

当中間期は、昨年大幅に減少した孔版事業の売上が小幅の減少にとどまる中、国内及び欧州においてインクジェット事業の販売を順調に伸ばすことができました。円高の影響を受けたため連結売上高は前年同期並みとなりましたが、原価の低減と販売管理費の抑制により18億円の営業利益を計上することができました。

懸案の米国販売子会社における事業再構築につきましても施策を実行いたしました。その収益改善は途上であり、引き続き注力すべき課題であります。

世界経済の先行きは依然として不透明な状況であります。今後も理想科学ならではの製品・サービスを提供し市場を拡大するとともに、経営資源を効果的に活用して利益体質の強化に努める所存です。

株主の皆様には今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



平成22年12月

代表取締役社長  
羽山 明

# 第四次中期経営計画 Riso Vision 13

(平成22年4月1日～平成25年3月31日)

新規顧客の獲得による健全な成長を、経営資源の効果的な活用のもとに実現し、安定した利益体質を再構築する

## 数値目標

- 連結売上高：830億円
- 連結営業利益：25億円

## 重点項目

1. インクジェット事業における販路の開拓と育成・強化
2. グローバルな商品企画体制・販売企画体制の構築
3. 生産体制・販管費構造のダイナミックな見直し

# 平成23年3月期経営方針

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

収益力強化に向けて、インクジェット事業における本体の新規設置加速と孔版事業の効率的運営を進め、同時に体質強化のための社内体制整備を実行する

## 重点項目

1. インクジェット事業における販路の開拓と育成・強化
2. 市場に適合する商品開発のための社内体制整備

## 最適なプリントソリューションを国内外のフェアで提案

当社は、国内外のさまざまなフェアへの出展や当社主催の展示会を開催しています。

来場される皆様に、実演を通じて高速カラープリンター・オフィスXシリーズやデジタル印刷機・リソグラフのプリントスピードや経済的なランニングコストを実感いただくとともに、お客様のプリント環境や用途にあわせたソリューションをご提案しています。

国内では、平成22年5月～9月にかけて、自社による展示会「RISO Printing Evolutions Fair 2010」を全国130会場で開催したほか、「ダイレクトマーケティングEXPO」や「教育ITソリューションEXPO」など、多数の見本市に出展しました。

海外では、4月からオフィスXシリーズの海外向けブランド「ComColor(コムカラー)」シリーズの欧州での販売開始に伴い、各国で自社による展示会やフェアで最適なプリントシステムをご案内しました。

今後とも、当社はお客様に最適なプリントソリューションを提案してまいります。



英国バーミンガムで開催した「IPEX2010」展示会の様子(平成22年5月)

## 海外販売強化の一環として、販売子会社を設立

当社は、中南米やロシアなどの市場で高速カラープリンターやデジタル印刷機の販売拡大を図るため、販売子会社「RISO LATIN AMERICA, INC.」「RISO EURASIA LLC」「RISO EURASIA KAZAKHSTAN LLC」の3社を設立しました。

中南米、ロシア、カザフスタンともに今後の経済成長が見込まれる市場であり、より本格的な市場開拓と販売チャネルの強化に向け、各社は新たなスタートを切りました。



RISO EURASIAのオープニングセレモニー(平成22年7月)

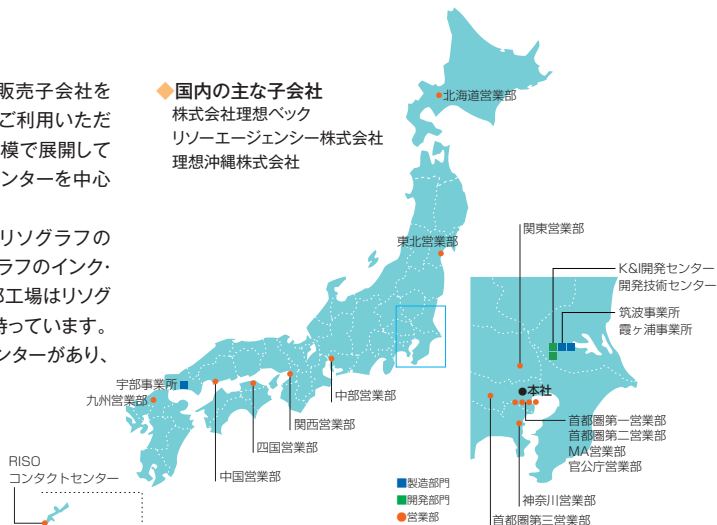
社名	設立	本店所在地
RISO LATIN AMERICA, INC.	平成21年10月	アメリカ、フロリダ州
RISO EURASIA LLC	平成22年4月	ロシア、モスクワ
RISO EURASIA KAZAKHSTAN LLC	平成22年9月	カザフスタン、アルマティ

## 国内

当社の販売ネットワークは14営業部47支店及び販売子会社を中心に構成されています。また、当社製品を安心してご利用いただくために、技術サポートや消耗品の供給体制も全国規模で展開しております。営業・技術スタッフの育成は、リソー教育センターを中心に全国で行われています。

国内の製造拠点は3カ所あります。筑波工場はリソグラフのハードウェアを生産しています。霞ヶ浦工場はリソグラフのインク・マスターとオルフィスのインクを生産しています。宇部工場はリソグラフのインク・マスターのうち量産品種の生産を受け持っています。

当社の開発部門はK&I開発センターと開発技術センターがあり、次代のRISO製品の開発に取り組んでいます。



## 海外

当社は19の海外子会社を中心に、オルフィス、リソグラフなどの販売や、技術サポートや消耗品の供給を行っています。また、中国・広東省の珠海工場では、リソグラフハードウェアの生産を行っています。RISOグループ3,000名以上のスタッフが、さまざまな国の人たちとのコミュニケーションを大切に、多くのお客様をサポートしています。

### ●海外の主な子会社

- RISO, INC.
- RISO CANADA, INC.
- RISO LATIN AMERICA, INC.
- RISO de Mexico, S.A. de C.V.
- RISO (U.K.) LTD.
- RISO (Deutschland) GmbH
- RISO FRANCE S.A.
- RISO IBERICA, S.A.
- RISOGRAPH ITALIA, S.p.A.
- RISO EURASIA LLC
- RISO EURASIA KAZAKHSTAN LLC
- RISO AFRICA (PTY) LTD.
- 理想工業(香港)有限公司
- 珠海理想科学工業有限公司
- 理想(上海)国際貿易有限公司
- RISO HONG KONG LTD.
- RISO (Thailand) LTD.
- RISO INDIA PRIVATE LTD.
- RISO KOREA LTD.



## 経営の実績—当中間期の概況

当社グループは、印刷機器事業における新規顧客の獲得による健全な成長を重点課題に掲げ、収益力の改善に取り組んでおります。

当中間期の売上高は、前年同期に比べ0.2%増加し374億5千5百万円となりました。期中平均為替レートは円高に推移し米ドル88.95円(前年同期比6.54円の円高)、ユーロ113.85円(同19.31円の円高)となりました。為替の影響を差し引いた試算では、売上高は前年同期に比べ3.8%の増収となります。

印刷機器事業のうちインクジェット事業については、国内及び欧州における販売が好調に推移し売上が伸長しました。孔版事業については、新興国での販売が増加したものの先進国を中心に販売が減少したため全体の売上が減少しました。

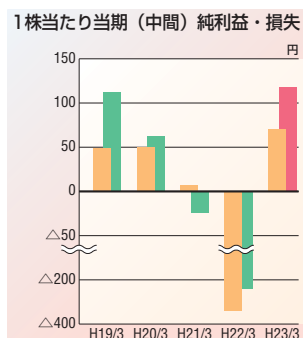
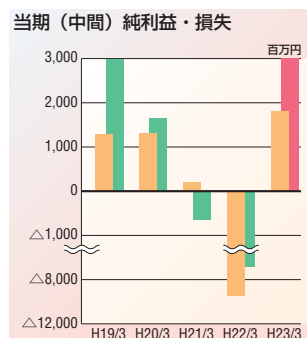
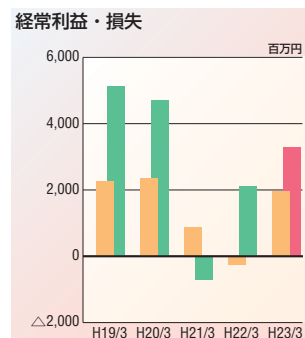
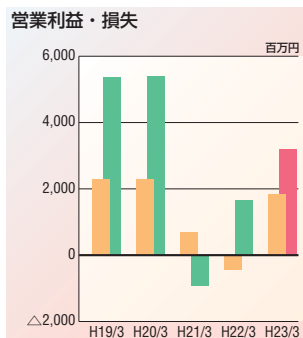
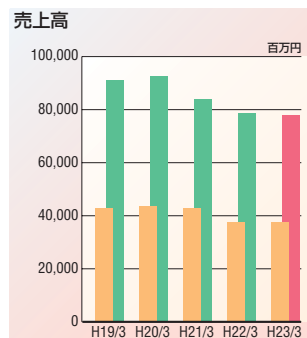
売上総利益は、インクジェット事業での売上が伸長し原価も低減したことなどから前年同期に比べ5.2%増加し185億5千3百万円となりました。営業利益は、販売管理費の削減の効果もあり18億4千8百万円(前年同期は4億3千1百万円の営業損失)となりました。経常利益は19億5千6百万円(前年同期は2億5千万円の経常損失)、中間純利益は18億1千2百万円(前年同期は94億7千6百万円の中間純損失)となりました。

## 通期の見通し

今後の見通しにつきましては、世界的な経済不安や為替相場の動向など依然として先行きの不透明感が続くものと思われます。このような経済環境の中、下期の為替レートを円高に想定したことにより海外の売上は前期を下回る見込みですが、国内の売上は好調に推移する見込みであることから、通期の売上高はほぼ前期並みとなる見通しです。利益面につきましては、原価低減や販売管理費の抑制により期初の計画を上回る見通しです。

通期業績見通しは、売上高は780億円、営業利益は32億円、経常利益は33億円、当期純利益は30億円を見込んでおります。なお、通期業績見通しにおける為替レートは、米ドル85円、ユーロ112円を前提としています。

## 業績ハイライト(連結)



凡例:  
■ 中間期 ■ 通期 ■ 通期見込

		平成19年3月期		平成20年3月期		平成21年3月期		平成22年3月期		平成23年3月期	
		中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期見込
売上高	(百万円)	42,601	90,863	43,535	92,621	42,627	83,774	37,377	78,469	37,455	78,000
営業利益・損失	(百万円)	2,280	5,379	2,279	5,397	689	△913	△431	1,669	1,848	3,200
経常利益・損失	(百万円)	2,250	5,139	2,358	4,709	883	△695	△250	2,113	1,956	3,300
当期(中間)純利益・損失	(百万円)	1,292	2,977	1,321	1,657	192	△641	△9,476	△5,937	1,812	3,000
1株当たり当期(中間)純利益・損失	(円)	48.64	112.12	49.93	62.73	7.38	△24.68	△368.80	△231.06	70.83	118.05

## 貸借対照表

(資産の部) (単位:百万円)

科目	前期	当中間期
	平成22年3月31日	平成22年9月30日
流動資産	49,571	46,035
現金及び預金	13,656	11,914
受取手形及び売掛金	14,221	11,690
有価証券	4,969	5,992
たな卸資産	13,271	12,580
その他	3,904	4,324
貸倒引当金	△ 451	△ 467
固定資産	38,863	37,240
有形固定資産	30,469	29,756
建物及び構築物	6,754	6,566
機械装置及び運搬具	1,169	1,044
土地	17,139	17,139
その他	5,406	5,007
無形固定資産	2,296	2,363
ソフトウェア	1,749	1,581
その他	547	782
投資その他の資産	6,097	5,120
投資有価証券	1,767	1,379
その他	4,493	3,887
貸倒引当金	△ 163	△ 146
資産合計	88,434	83,276

(注) 当中間期の有形固定資産の減価償却累計額 40,976百万円

(負債の部) (単位:百万円)

科目	前期	当中間期
	平成22年3月31日	平成22年9月30日
流動負債	25,005	20,900
支払手形及び買掛金	13,055	11,751
短期借入金	4,832	2,735
一年内返済予定の長期借入金	5	4
その他	7,111	6,409
固定負債	5,153	4,971
長期借入金	68	57
退職給付引当金	3,524	3,562
その他	1,560	1,351
負債合計	30,159	25,872

(純資産の部) (単位:百万円)

科目	前期	当中間期
	平成22年3月31日	平成22年9月30日
株主資本	59,616	60,158
資本金	14,114	14,114
資本剰余金	14,779	14,779
利益剰余金	32,108	31,774
自己株式	△ 1,386	△ 510
評価・換算差額等	△ 1,340	△ 2,754
その他有価証券評価差額金	263	△ 95
為替換算調整勘定	△ 1,604	△ 2,659
純資産合計	58,275	57,404
負債純資産合計	88,434	83,276

### POINT 1

#### 自己株式

自己株式94万株の消却を実施しました。また、当中間期は45万7千9百株(4億9千9百万円)の自己株式を取得しました。



## ■ 損益計算書

(単位:百万円)

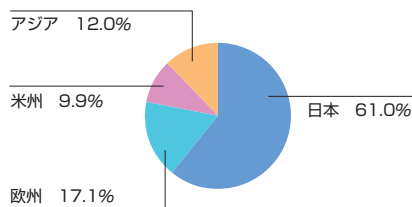
科目	前中間期	当中間期
	平成21年4月1日～ 平成21年9月30日	平成22年4月1日～ 平成22年9月30日
<b>売上高</b>	37,377	37,455
売上原価	19,738	18,902
売上総利益	17,638	18,553
販売費及び一般管理費	18,070	16,704
<b>営業利益・損失</b>	△ 431	1,848
営業外収益	603	464
営業外費用	421	356
<b>経常利益・損失</b>	△ 250	1,956
特別利益	28	—
特別損失	5,903	—
<b>税金等調整前中間純利益・損失</b>	△ 6,125	1,956
法人税等	3,351	143
<b>中間純利益・損失</b>	△ 9,476	1,812

## ■ キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前中間期	当中間期
	平成21年4月1日～ 平成21年9月30日	平成22年4月1日～ 平成22年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	885	3,126
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,133	116
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 665	△ 3,074
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 185	△ 597
現金及び現金同等物の増減額	△ 1,099	△ 429
現金及び現金同等物の期首残高	23,246	17,910
現金及び現金同等物の中間期末残高	22,146	17,481

地域別売上高比率(当中間期)



### POINT 2

#### 売上高

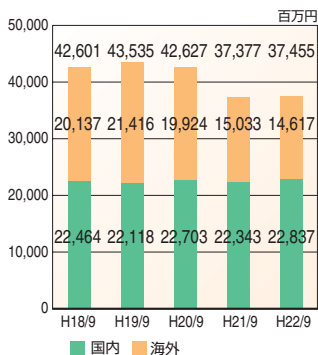
前年同期比7千8百万円の増収となりました。「売上高」の為替影響は13億3千3百万円のマイナスでした。

### POINT 3

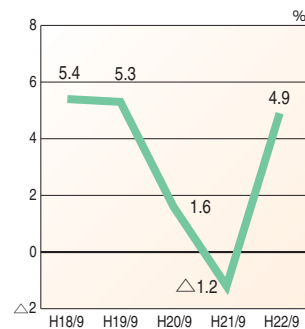
#### 営業利益

売上原価の低減や販売管理費の削減に取り組んだ結果、前年同期比22億8千万円の増益となりました。

国内・海外売上高(中間期)

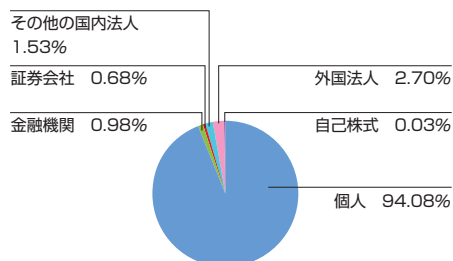


売上高営業利益率(中間期)

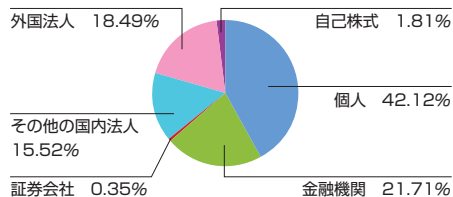


■ 発行可能株式総数	67,840,000株 (前期末比 増減なし)
■ 発行済株式の総数	25,703,166株 (前期末比 940,000株減少)
■ 株主数	3,667名 (前期末比84名増加)

## ■ 株主数比率



## ■ 株式数比率



## ■ 大株主一覧(上位10人)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
有限会社理想社	2,470	9.61
財団法人理想教育財団	1,330	5.18
ノーザントラストカンパニー(エイブイエアシー) サブアカウントアメリカンクライアント	1,233	4.80
羽山 昇	1,155	4.50
羽山 明	1,040	4.05
理想科学工業従業員持株会	1,002	3.90
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	934	3.64
羽山 治	840	3.27
羽山 尚	840	3.27
伊藤 眞理子	840	3.27

(注) シルチェスター インターナショナル インベスターズ リミテッドから、平成21年7月17日付で大量保有報告書(変更報告書)の写しの送付を受けましたが、当社として当中間期末日現在における実質所有株式数の確認ができないため上記大株主一覧には含めておりません。なお、大量保有報告書(変更報告書)の内容は以下のとおりです。

株主名	持株数(千株)
シルチェスター インターナショナル インベスターズ リミテッド	2,938

## ■ 自己株式の取得・消却について

当中間期中に取得・消却した自己株式は下記のとおりです。

取得した株式数	457,900株
取得価格	499百万円
消却した株式数	940,000株 (消却前発行済株式の総数に対する割合 3.52%)
消却実施日	平成22年8月16日

- 商号 理想科学工業株式会社
- 本社 〒108-8385  
東京都港区芝五丁目34番7号
- 創業 昭和21年(1946年)9月2日
- 会社設立 昭和30年(1955年)1月25日
- 資本金 14,114,985,384円
- 従業員数 1,744名(グループ全体 3,171名)
- 連結子会社 26社(国内4社 海外22社)
- 役員
 

代表取締役社長	羽山 明
常務取締役	高橋 靖宏
常務取締役	国谷多可史
取締役	阿部 和男
取締役	五十嵐秀隆
取締役	遠藤喜八郎
取締役	藤岡 秀則
取締役	石橋 英悟
取締役	岡田 良隆
取締役	高橋 康信
常勤監査役	谷口 隆
常勤監査役	山本 邦明
監査役	鈴木 瀧夫*
監査役	飯塚 良成*

(注) \* 印は会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

## 理想科学に関する様々な情報は ホームページでご覧になれます。

当社ホームページは、製品・サービスや採用のほか、会社情報や環境への取り組みなど多くの情報を発信しています。財務・IR情報コーナーの「株主・投資家の皆様へ」では、関連するニュースやデータをはじめ、決算短信や有価証券報告書、内部統制、コーポレートガバナンス、株式手続きなど様々な情報を掲載しています。ぜひご覧ください。

■ ホームページ  
<http://www.riso.co.jp/>



■ 株主・投資家の皆様へ  
<http://www.riso.co.jp/home/kabu/>

### ◆ 本資料の記載情報

本資料におきましては便宜上、第2四半期累計期間を「中間期」と表示しております。

### ◆ 今後の見通しに関する注意事項

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

## ■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から 翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会・期末配当 3月31日 中間配当を行う場合 9月30日
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル) 取次事務は中央三井信託銀行株式会社 の全国各支店ならびに日本証券代行株 式会社の本店及び全国各支店で行っ ております。
公告掲載URL	<a href="http://www.riso.co.jp/">http://www.riso.co.jp/</a> ただし、事故その他やむを得ない事由に よって電子公告による公告ができない場 合は、日本経済新聞に掲載します。
理想科学株主様窓口	理想科学工業株式会社 総務部 〒108-8385 東京都港区芝五丁目34番7号 田町センタービル 電話 03-5441-6611

## ■ 株主インフォメーション

### 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため当社が開設した特別口座にご所有の株式が記録された株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

■ 電話 0120-78-2031(フリーダイヤル)

### 未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

### 配当金計算書について

配当金お支払いの際にご送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、本年より配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

インターネットで当社に関する情報がご覧いただけます。

ホームページアドレス

<http://www.riso.co.jp/>



**理想科学工業株式会社**

本社/〒108-8385 東京都港区芝五丁目34番7号 田町センタービル

証券コード 6413

本中間報告書は、環境にやさしい大豆インキと、FSC認証紙を使用しております。